

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H15	川添川 広域一般河川改 修事業 事業主体：県 事業地：北方町	流路是正、狭窄部解消を行 い、治水安全度を向上し、 流域の浸水被害の軽減を 図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=18.6億円 工期：S54~H20 改修延長：L=1,000m 計画流量：100m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管8基、橋梁7 基、堰2基	国道34号より下流につ いては完了している。 現在、国道橋改築に関 する調整を進めてい る。 丁后橋他5基完成 堰1基完成 (H14末進捗率 86%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.6%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 593戸 農地浸水面積 110ha (地域の状況) 上流部において、市街地化が進 んでいる。 また、六角川合流点の排水機場 (Q=23m ³ /s)が完成した。	事業採択時と比 較し、費用対効果 の要因の大きな 変化はない。 現在(B/C)	(コスト縮減策) 各種工法において 対応可能なコスト 縮減を図る。	再評価実施後 5 年が経過	継続
	現時点 H20	総合流域防災事 業 事業地：武雄市		前回評価時より事業費 が増額となった。 全体事業費：C=22.3億円 工期：S54~H26 改修延長：L=1,000m 計画流量：100m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管8基、橋梁7 基、堰2基	国道34号より下流につ いては完了している。 現在、国道橋改築に関 する調整を進めてい る。 丁后橋他5基完成 堰2基完成 (H19末進捗率 87%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.0%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 上流部において、市街地化が進 んでいる。 また、六角川合流点の排水機場 (Q=23m ³ /s)が完成した。	最新のマニユア ルに基づき、費用 対効果(B/C)を 算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等 被害額等 B=6,872百万円 総費用額 C=5,076百万円 現在(B/C) 1.4	(コスト縮減策) 各種工法において 対応可能なコスト 縮減を図る。	再々評価実施後 5年が経過	昭和55年、平成 2年等の洪水被 害を軽減する ため、流路是 正、狭窄部解消 を行い、治水安 全度を向上し、 地域住民の安 心・安全を確保 するためには、 当事業の継続 が必要である。
	理由等			・鋼材単価の高騰による 工事費の増。 ・河川構造物の耐震検討 に関する新たな指針に よる構造物の検討費用 及び工事費の増。 ・河床掘削土の運搬距離 増による処分費増。 ・行財政改革等の予算縮 減を受け年度事業費が 減となったことによる 工期延長。						

